

## 2024 年度第 2 四半期（中間期）決算について

2024 年 10 月 30 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2024 年度第 2 四半期（中間期）[2024 年 4 月 1 日～2024 年 9 月 30 日]の連結業績についてとりまとめました。

売上高は、燃料価格の低下等により、燃料費等調整額が減少したことなどにより、前年同期比 1,587 億円減の 3 兆 3,549 億円となりました。

経常損益は、主に燃料費等調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年同期比 2,289 億円減の 2,506 億円の利益となりました。

また、特別損失に原子力損害賠償費 336 億円を計上したことなどから、親会社株主に帰属する中間純損益は、1,895 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第 2 四半期 (中間期) (A)	前年同期 (B)	比 較	
			A-B	A/B (%)
売 上 高	33,549	35,137	△ 1,587	95.5
営 業 損 益	1,990	3,547	△ 1,557	56.1
経 常 損 益	2,506	4,796	△ 2,289	52.3
特 別 損 益	△ 336	△ 660	324	—
親会社株主に帰属する 中 間 純 損 益	1,895	3,508	△ 1,612	54.0

## 【セグメント別の経常損益】

2024 年度第 2 四半期（中間期）のセグメント別の経常損益は以下のとおりです。

- 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、卸電力販売の増加などにより、前年同期比 232 億円増の 1,388 億円の利益となりました。
- 東京電力フュエル&パワー株式会社の経常損益は、JERA における燃料費調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年同期比 812 億円減の 529 億円の利益となりました。
- 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、需給調整に係る費用が増加したことなどから、前年同期比 636 億円減の 813 億円の利益となりました。
- 東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、燃料費等調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年同期比 1,135 億円減の 796 億円の利益となりました。
- 東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、修繕費が増加した一方、卸電力販売が増加したことなどにより、前年同期比 8 億円増の 403 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第2四半期 (中間期) (A)	前年同期 (B)	比較	
			A-B	A/B (%)
経常損益	2,506	4,796	△ 2,289	52.3
東京電力ホールディングス	1,388	1,155	232	120.1
東京電力燃料&パワー	529	1,342	△ 812	39.5
東京電力パワーグリッド	813	1,449	△ 636	56.1
東京電力エナジーパートナー	796	1,931	△ 1,135	41.2
東京電力リニューアブルパワー	403	394	8	102.2

**【2024年度業績予想】**

2024年度の業績予想については、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働時期を見通せないことから、現時点で未定としております。今後、お示しできる状況となった段階で、お知らせいたします。

以上

**【本件に関するお問い合わせ】**  
東京電力ホールディングス株式会社  
広報室 経営報道グループ 03-6373-1111 (代表)

# 2024年度第2四半期(中間期)決算概要

---

2024年10月30日

東京電力ホールディングス株式会社

※ 本資料に記載の数値は、端数処理の関係で合計等が一致しない場合がある

# 1. 連結決算の概要

## 【2024年度第2四半期(中間期)決算のポイント】

- **売上高**は、燃料価格の低下等により、燃料費等調整額が減少したことなどにより**減収**
- **経常損益・中間純損益**は、主に燃料費等調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより**減益**

(単位:億円)

	2024年4-9月	2023年4-9月	比較	
			増減	比率(%)
売上高	33,549	35,137	△ 1,587	95.5
営業損益	1,990	3,547	△ 1,557	56.1
経常損益	2,506	4,796	△ 2,289	52.3
特別損益	△ 336	△ 660	+ 324	-
親会社株主に帰属する 中間純損益	1,895	3,508	△ 1,612	54.0

## 【2024年度業績予想】

- 未定

# (参考) 収支諸元表

## 販売電力量

(単位: 億kWh)

	2024年4-9月	2023年4-9月	比較	
			増減	比率(%)
総販売電力量	1,163	1,153	+ 10	100.9
小売販売電力量 ※1	951	993	△ 42	95.7
卸販売電力量 ※2	212	159	+ 53	133.0

※1 EP連結(EP・TCS・PinT)とPG(最終保障供給・島嶼)の合計

※2 EPとPG(地帯間含む)とRP連結(RP・東京発電)の合計(間接オークション除き)

## エリア需要

(単位: 億kWh)

	2024年4-9月	2023年4-9月	比較	
			増減	比率(%)
エリア需要	1,348	1,324	+ 24	101.8

## 為替/CIF

	2024年4-9月	2023年4-9月	増減
為替レート(インターバンク)	152.8 円/ドル	141.1 円/ドル	+ 11.7 円/ドル
原油価格(全日本CIF)	86.7 ドル/バレル ※3	83.6 ドル/バレル	+ 3.1 ドル/バレル

※3 2024年度の原油価格は2024年10月17日公表の速報値

## 2. セグメント別の概要

(単位: 億円)

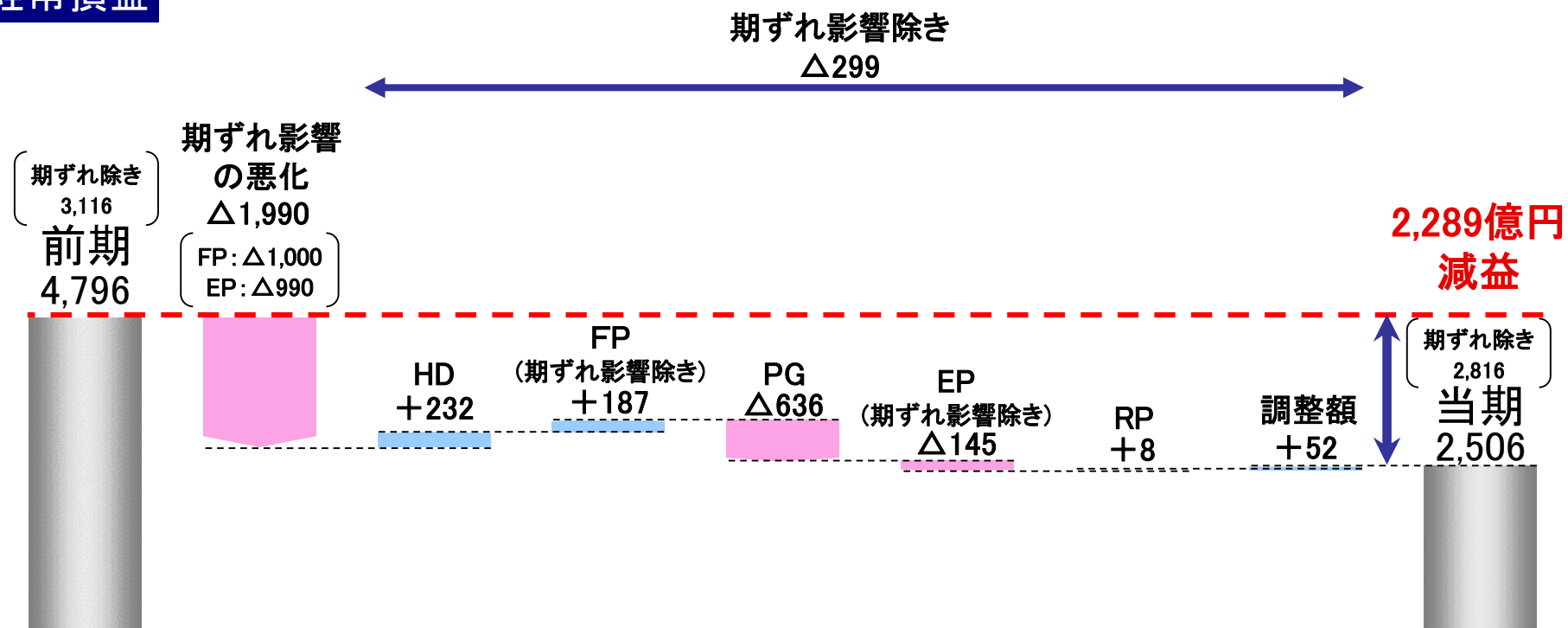
	2024年4-9月	2023年4-9月	比較	
			増減	比率(%)
売上高	33,549	35,137	△ 1,587	95.5
東京電力ホールディングス (HD)	3,484	2,985	+ 498	116.7
東京電力燃料&パワー (FP)	18	19	△ 0	97.2
東京電力パワーグリッド (PG)	11,684	10,817	+ 866	108.0
東京電力エナジーパートナー (EP)	27,494	29,457	△ 1,963	93.3
東京電力リニューアブルパワー (RP)	1,163	937	+ 226	124.1
調整額	△ 10,296	△ 9,081	△ 1,214	—
経常損益	2,506	4,796	△ 2,289	52.3
期ずれ影響	△ 310	1,680	△ 1,990	—
期ずれ影響除き	2,816	3,116	△ 299	90.4
東京電力ホールディングス (HD)	1,388	1,155	+ 232	120.1
東京電力燃料&パワー (FP)	529	1,342	△ 812	39.5
期ずれ影響	80	1,080	△ 1,000	7.4
期ずれ影響除き	449	262	+ 187	171.6
東京電力パワーグリッド (PG)	813	1,449	△ 636	56.1
東京電力エナジーパートナー (EP)	796	1,931	△ 1,135	41.2
期ずれ影響	△ 390	600	△ 990	—
期ずれ影響除き	1,186	1,331	△ 145	89.1
東京電力リニューアブルパワー (RP)	403	394	+ 8	102.2
調整額	△ 1,424	△ 1,476	+ 52	—

### 3. セグメント別のポイント

- HD: 卸電力販売の増加などにより**増益**
- FP: JERAにおける期ずれ影響の悪化などにより**減益**
- PG: 需給調整に係る費用の増加などにより**減益**
- EP: 期ずれ影響の悪化などにより**減益**
- RP: 修繕費が増加した一方、卸電力販売の増加などにより**増益**

#### 経常損益

(単位: 億円)



## 4. 連結特別損益

(単位: 億円)

	2024年4-9月	2023年4-9月	比較
特別利益	-	-	-
特別損失	336	660	△ 324
原子力損害賠償費	※ 336	660	△ 324
特別損益	△ 336	△ 660	+ 324

※ ALPS処理水の放出に伴う影響を踏まえた見積額の増加等

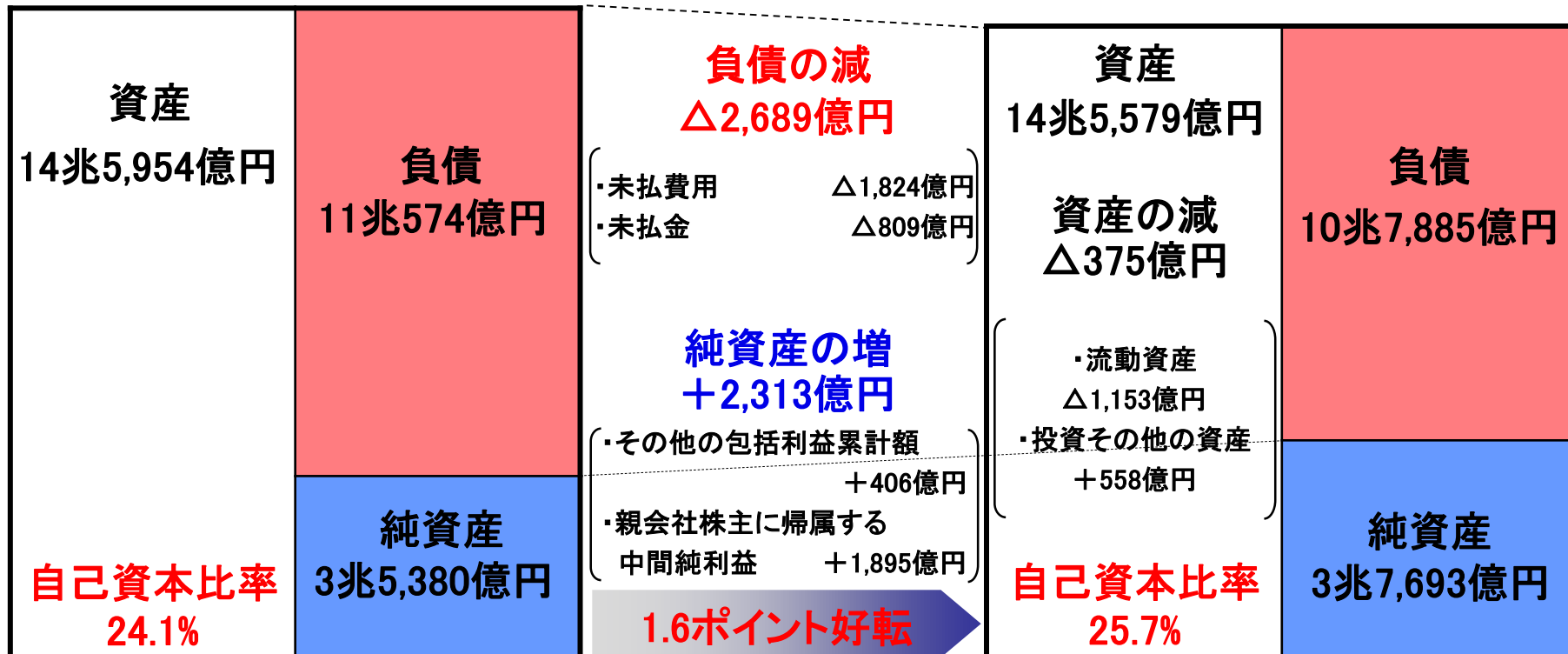


# 5. 連結財政状態

- 総資産残高は、流動資産の減少などにより 375億円減少
- 負債残高は、未払費用の減少などにより 2,689億円減少
- 純資産残高は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上などにより 2,313億円増加
- 自己資本比率は、1.6ポイント好転

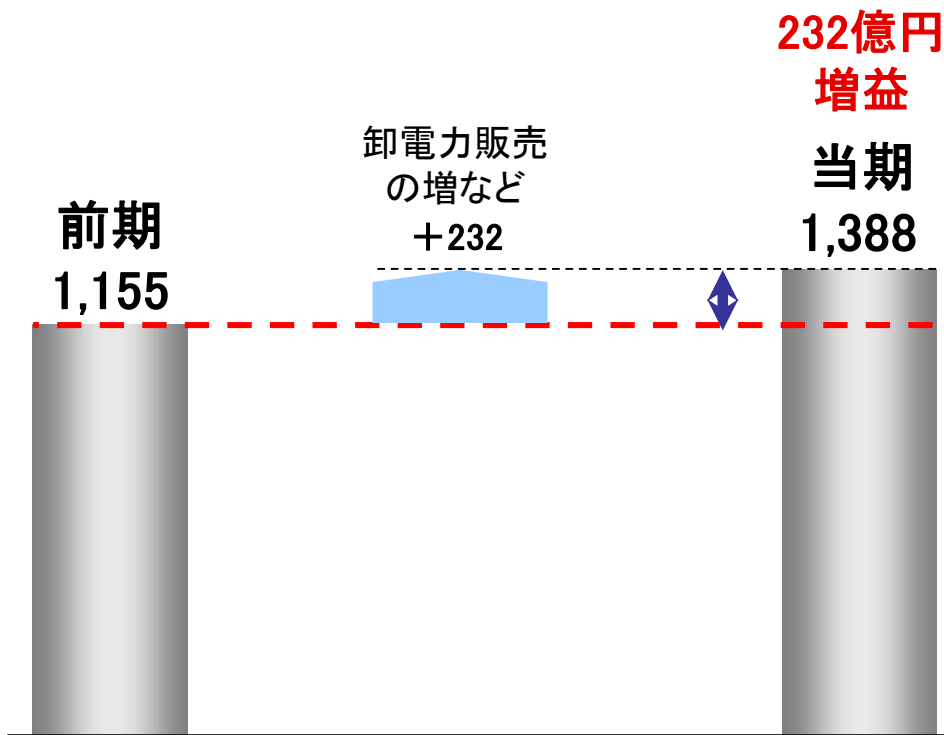
2024年3月末 BS

2024年9月末 BS



## 経常損益

(単位:億円)



## 収支構造

収益は、配当収入や廃炉等負担金収益、経営サポート料や原子力の卸電力販売など。費用は、主に原子力発電設備の修繕費や減価償却費、原子力損害賠償・廃炉等支援機構への一般負担金、特別負担金など。

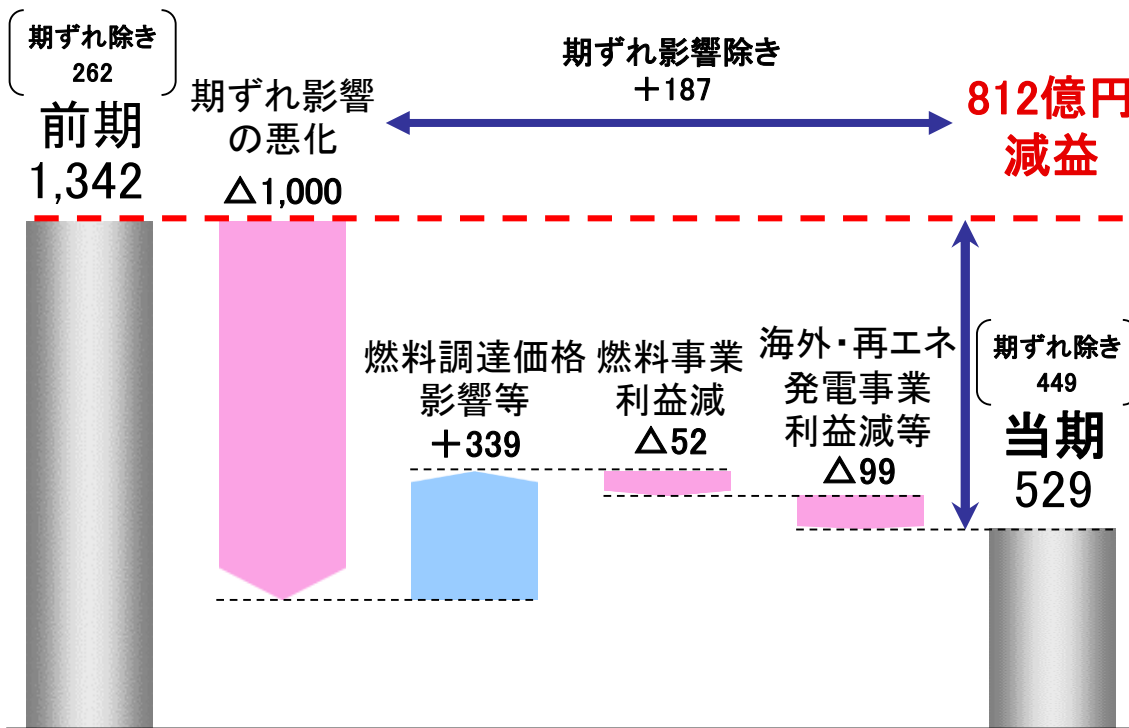
## 経常損益

(単位:億円)

	2024年度	2023年度	増減
4-6月	1,516	1,424	+ 91
4-9月	1,388	1,155	+ 232
4-12月		644	
4-3月		△ 1,271	

## 経常損益

(単位:億円)



## 収支構造

主な損益は、JERAの需給収支などによる持分法投資損益。

## 期ずれ影響(JERA持分影響)

(単位:億円)

	2024年度	2023年度	増減
4-6月	+ 100	+ 780	$\Delta 680$
4-9月	+ 80	+ 1,080	$\Delta 1,000$
4-12月		+ 1,090	
4-3月		+ 1,250	

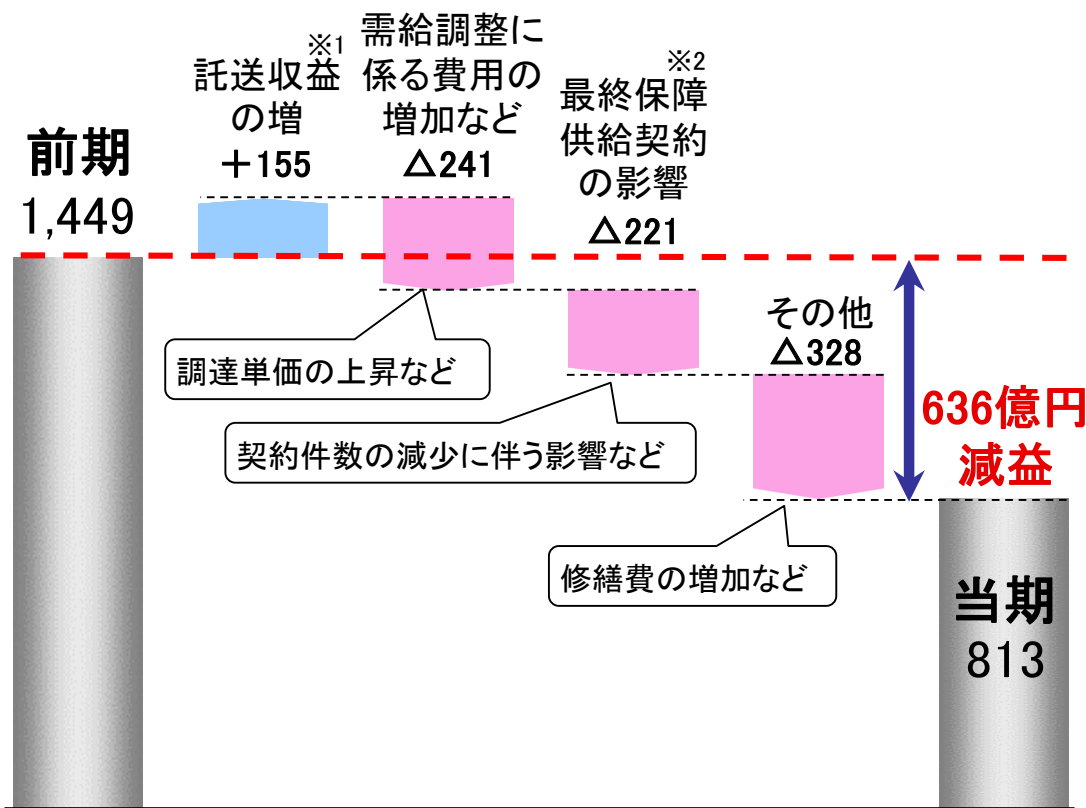
## 経常損益

(単位:億円)

	2024年度	2023年度	増減
4-6月	387	836	$\Delta 448$
4-9月	529	1,342	$\Delta 812$
4-12月		1,516	
4-3月		1,749	

## 経常損益

(単位:億円)



※1 託送収益はインバランス収益の影響を除いている

※2 最終保障供給契約における販売影響と調達影響の差引を示している

## 収支構造

売上は、主に託送収益で、エリア需要によって変動。費用は、主に送配電設備の修繕費や減価償却費など。

## エリア需要

(単位:億kWh)

	2024年度	2023年度	増減
4-9月	1,348	1,324	+ 24

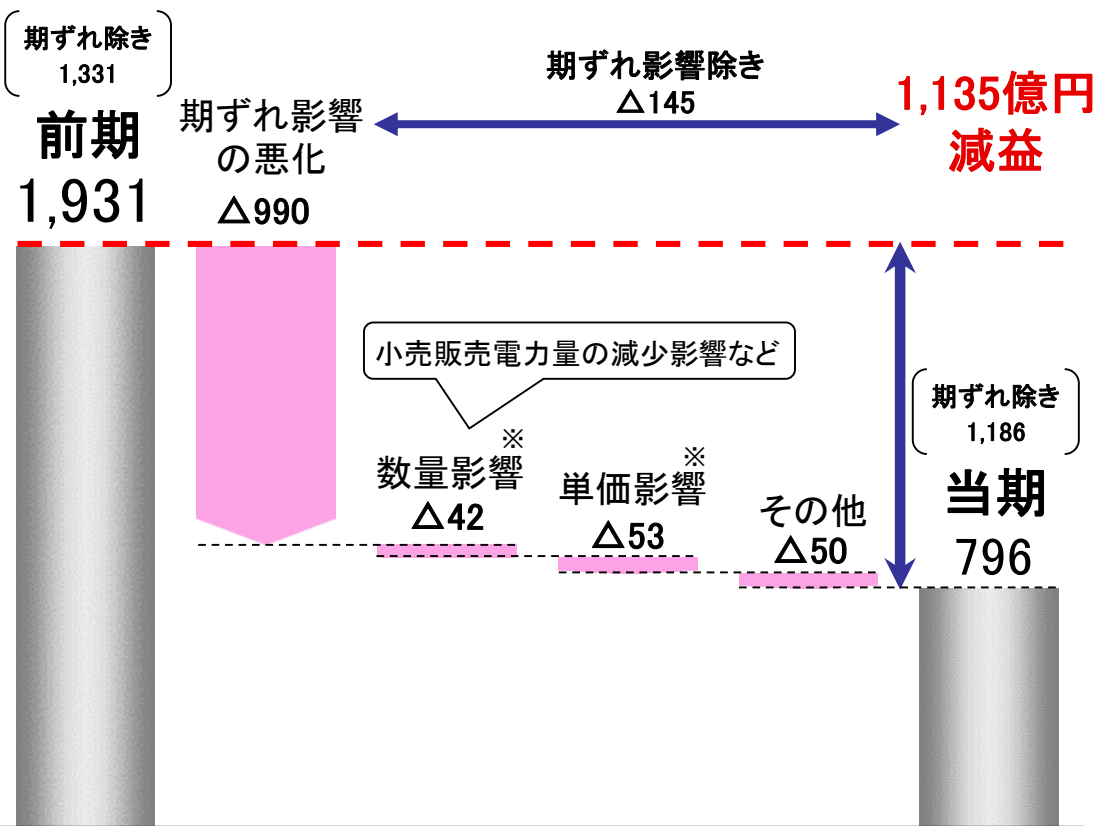
## 経常損益

(単位:億円)

	2024年度	2023年度	増減
4-6月	117	489	$\Delta 371$
4-9月	813	1,449	$\Delta 636$
4-12月		1,840	
4-3月		1,567	

## 経常損益

(単位: 億円)



## 収支構造

売上は、主に電気料収入で、販売電力量によって変動。  
費用は、主に購入電力料や接続供給託送料など。

## 小売販売電力量(EP連結)

(単位: 億kWh)

	2024年度	2023年度	増減
4-9月	946	975	$\Delta 29$

競争要因 $\Delta 40$ 、気温影響 $+4$ 、その他 $+8$

## 期ずれ影響

(単位: 億円)

	2024年度	2023年度	増減
4-6月	$\Delta 10$	$+ 590$	$\Delta 600$
4-9月	$\Delta 390$	$+ 600$	$\Delta 990$
4-12月		$+ 570$	
4-3月		$+ 1,040$	

## ガス件数(EP単体)

2024年9月末	2024年3月末
約144万件	約144万件

## 経常損益

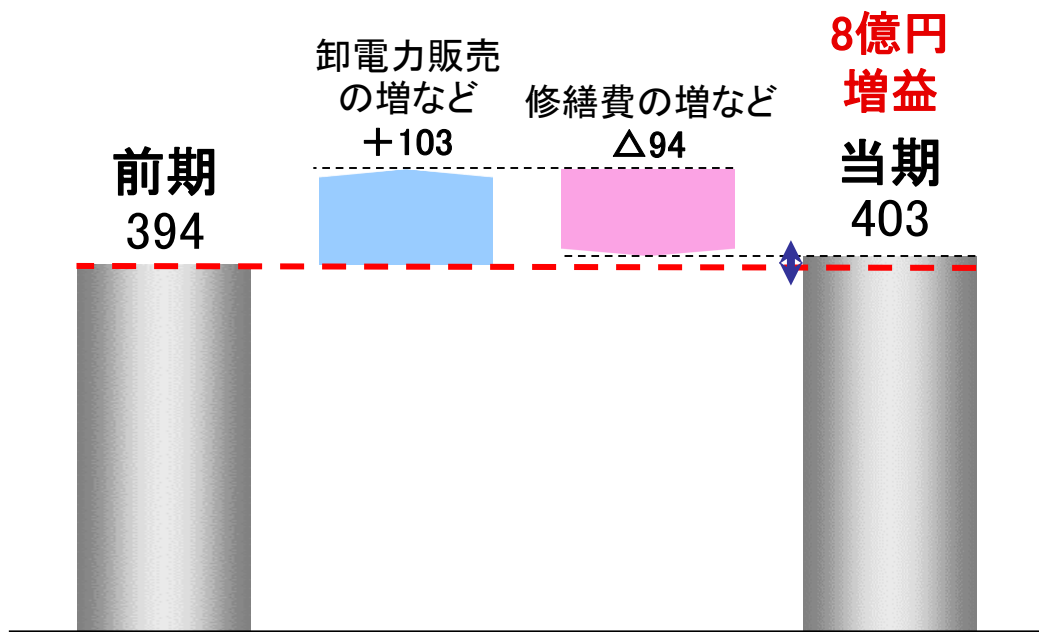
(単位: 億円)

	2024年度	2023年度	増減
4-6月	214	828	$\Delta 614$
4-9月	796	1,931	$\Delta 1,135$
4-12月		2,228	
4-3月		3,261	

※ 相対・市場取引における販売影響と調達影響の差引を示している

## 経常損益

(単位:億円)



## 収支構造

売上は、主に水力・新エネルギーの卸電力販売。費用は、主に減価償却費や修繕費。

## 出水率

(単位:%)

	2024年度	2023年度	増減
4-9月	98.8	91.2	+ 7.6

## 経常損益

(単位:億円)

	2024年度	2023年度	増減
4-6月	201	221	△ 20
4-9月	403	394	+ 8
4-12月		437	
4-3月		451	

# (参考) 期ずれ影響のイメージ

(単位: 億円)

